

43年の歴史に幕

# 鳩山高校卒業式・閉校舎式典

3月10日（火）、県立鳩山高校で卒業式と閉校舎式典が行われました。75人の卒業生が、長年親しまれてきた学び舎に別れを告げ、新たな一歩を踏み出しました。

式典では、卒業証書の授与や各種表彰が行われました。卒業生代表の廣澤さんは、「これまでの努力を忘れず、これからも挑戦を続け、立派な社会人になれるよう頑張ります。」と感謝の言葉を述べました。

また、閉校舎式典では、これまで学校を支えてきた地域や関係者への感謝が伝えられ、長い歴史を振り返る時間となりました。長い歴史に幕を下ろす鳩山高校ですが、4月からは越生高校と統合し「越生翔桜高校」として新たなスタートを切ります。

鳩山高校で過ごした思い出や学びの日々は卒業生や地域の人々の心の中でこれからも大切に受け継がれていきます。



卒業式・閉校舎式典の様子



## ハトミライ☆プロジェクト

30年後の鳩山を桜の名所へ



▲さくらマップ

「ハトミライ☆プロジェクト」は、鳩山高校生徒会の生徒が、福島県で災害復興ボランティアに参加した経験をもとに、「第3回言ってんべー・聞いてんべー」に参加し、「ハトミライ☆プロジェクト～今、ボクらにできること～」というテーマでプレゼンテーションを行いました。これをきっかけに鳩山高校と鳩山町で協力し、プロジェクトがスタートしました。

プロジェクトは、「30年後の鳩山を桜の名所へ」石坂の森、地球観測センター（JAXA）、泉井交流体験エリア、鳩山松寿園本館、鳩山中学校、東京電機大学鳩山キャンパスなど、町内各地に桜が植樹してきました。

この植樹した桜は、福島県で育てられた桜を全国に植樹する「ふくしま桜森プロジェクト」からご提供いただいた苗木です。

植樹した桜に託した思いは歴代の生徒達に受け継がれ、2024年まで7年間活動が続けられました。鳩山高校が校舎を閉じることに伴い、植樹活動は一区切りとなりますが、「ハトミライ☆プロジェクト」の記念碑が統合先の越生高校（統合後は越生翔桜高校）の敷地内に設置され、その歩みは未来へと受け継がれています。